

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
2	松本 義人	Vision Quest Logic & Expression I (啓林館)
必 履 修 ○学校必履修 必修選択 自由選択		チャート式新々総合英語総合英語 (チャート)

◆学習の目標

英語によるコミュニケーションの見方・考え方を習得し、英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及び、それらの統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

◆主な学習内容・方法

- (1) 日常的な話題・社会的な話題について、語彙や文法を適切に使用し、英語で読む、書く、聞く、話す（やり取り・発表）練習をする。
- (2) 中学校の学習スタイルから脱却し、予習を前提とした高校の学習スタイルを確立する、さらには進学指導重点校で求められるレベルでの学習サイクルを確立する。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

- ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き等の理解を深め、目的や場面、状況に応じて、実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を的確に理解したり、表現したりする力を養う。
- ・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

- ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き等の理解を深め、目的や場面、状況に応じて、実際のコミュニケーションで適切に活用できる。

○思考・判断・表現

- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を的確に理解したり、表現したりすることが出来る。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が見られる。

◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1 学期 (26 時間)	2 学期 (28 時間)	3 学期 (16 時間)
------	-------	---------------	---------------	---------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・予習を前提とした授業を行う。予習で発見された疑問点を、授業の中で解決することを意識する。
- ・復習では音読を重視し、教科書の英文は暗唱レベルで手と口で再現できることを目指す。
- ・正確さと流暢さを両方重視し、出会った語句や表現を自分のものとするよう意識する。
- ・「何となく」を脱却し、「なぜそう言えるのか」を常に意識し、英語を「感覚的に」わかったつもりになるのではなく、「論理的に」きちんと理解し、他者に根拠を説明できるようにする。
- ・授業中のペアワークなどの活動において、間違いを恐れず積極的に英語でコミュニケーションを取る。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習目標
1 学期	4	Lesson 1～2	3	文の種類 基本文型 様々な疑問文 基本時制 進行形 完了形助動詞 受動態 不定詞	学習した文法事項を使いながら、自分の考えを書いたり話したりできる。
	5	Lesson 3～4	4		
		Lesson 5～6	4		
	6	Lesson 7～9	5		
		Lesson 10～13	6		
	7	Lesson 14～15	4		
2 学期	8	Lesson 16～18 Lesson 19～20 Lesson 21～23 Lesson 24～26 Lesson 27～30	6	動名詞 分詞 関係詞比較 仮定法 否定 話法 名詞と冠詞	学習した文法事項を正しく使いながら、自分の考えを適切に書いたり話したりできる。
	9		4		
	10		5		
	11		6		
			6		
	12				
3 学期	1	Lesson 31～32	4	代名詞 形容詞と副詞 前置詞 接続詞 様々な構文	学習した文法事項を状況に応じて適切に使いこながら、自分の考えを適切に、わかりやすく書いたり話したりできる。
	2	Lesson 33～34	3		
		Lesson 35～36	3		
	3		2		